

■ 建築士専科

1 年次

	科 目 名	開講期		オンライン 対象科目
		前期	後期	
必修 科目	建築計画Ⅰ	○		
	建築計画Ⅱ	○		
	建築一般構造Ⅰ	○		
	建築一般構造Ⅱ	○		
	建築法規Ⅰ	○		
	建築法規Ⅱ	○		
	建築施工Ⅰ	○		
	建築施工Ⅱ	○		
	構造力学・建築材料	○		
	学科特論	○		
	キャリア・デザイン	○		
	建築設計製図		○	
	ビジネス講座		○	
選択 科目	特別講義（学外研修）		○	
	建築デザイン講座		○	
	建築積算講座		○	
	2級建築施工管理技士学科講座		○	
	危険物取扱者講座		○	

科目名： 建築計画Ⅰ		【講義】	
英文名： Architectural Planning Ⅰ			
担当者：	岸本憲一		
	本科目は、建築計画への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、気候や熱などの環境工学、また住宅や社会施設の建築計画など広い範囲における基本から重要事項までを講義を中心に学ぶ。</p> <p>第 1 回： 計画について。換気＋室内気候</p> <p>第 2 回： 日射・日照について</p> <p>第 3 回： 光・色彩について</p> <p>第 4 回： 音の性質、透過損失・音響計画について</p> <p>第 5 回： 計画原論のまとめ講義</p> <p>第 6 回： 空調設備について</p> <p>第 7 回： 給排水設備について①(給水設備)</p> <p>第 8 回： 給排水設備について②(排水設備)</p> <p>第 9 回： 防災設備・省エネルギー・環境配慮について</p> <p>第 10 回： 建築設備まとめ講義</p> <p>第 11 回： 住宅・集合住宅について(住戸計画及び地域計画)</p> <p>第 12 回： 公共建築について(保育所、幼稚園、学校等)</p> <p>第 13 回： 商業建築について(事務所、劇場、店舗等)</p> <p>第 14 回： 建築各部の計画について(各部寸法、バリアフリー計画等)</p> <p>第 15 回： 建築史について(日本、西洋、東洋)</p> <p>第 16 回： 総まとめ講義</p> <p>■教科書</p> <p>ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳 (エクスナレッジ)</p> <p>■参考文献</p> <p>2級建築士試験 出題キーワード別問題集 (学芸出版社)</p> <p>■到達目標</p> <p>2級建築士試験合格に必要な建築計画の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法</p> <p>原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準</p> <p>受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ</p> <p>① 遅刻は厳禁！</p> <p>② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築計画Ⅱ		【講義】	
英文名： Architectural Planning II			
担当者：	岸本憲一		
	本科目は、建築計画への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 4単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅰの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを演習を通して学ぶ。</p> <p>第1回：計画について。換気＋室内気候</p> <p>第2回：日射・日照について</p> <p>第3回：光・色彩について</p> <p>第4回：音の性質、透過損失・音響計画について</p> <p>第5回：計画原論のまとめ講義</p> <p>第6回：空調設備について</p> <p>第7回：給排水設備について①(給水設備)</p> <p>第8回：給排水設備について②(排水設備)</p> <p>第9回：防災設備・省エネルギー・環境配慮について</p> <p>第10回：建築設備まとめ講義</p> <p>第11回：住宅・集合住宅について(住戸計画及び地域計画)</p> <p>第12回：公共建築について(保育所、幼稚園、学校等)</p> <p>第13回：商業建築について(事務所、劇場、店舗等)</p> <p>第14回：建築各部の計画について(各部寸法、バリアフリー計画等)</p> <p>第15回：建築史について(日本、西洋、東洋)</p> <p>第16回：総まとめ講義</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳 (エクスナレッジ)</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集 (学芸出版社)</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築計画の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築一般構造Ⅰ		【講義】	
英文名： Building ConstructionⅠ			
担当者：	池内隆人		
	本科目は、建築一般構造への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅲの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを講義を中心に学ぶ。</p> <p>第1回： 建築一般構造基礎講義①・・・構造計画</p> <p>第2回： 建築一般構造基礎講義②・・・木構造</p> <p>第3回： 建築一般構造基礎講義③・・・RC造、鉄骨構造</p> <p>第4回： 構造①・・・荷重（固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力）</p> <p>第5回： 構造②・・・地盤と基礎（地盤の圧密、液状化について・基礎の設計）</p> <p>第6回： 構造③・・・構造設計、構造計画</p> <p>第7回： 一般構造①・・・木構造Ⅰ（木材の許容応力度・継手仕口・接合）</p> <p>第8回： 一般構造②・・・木構造Ⅱ（各部構造、耐力壁・枠組壁工法・防腐防虫・各部詳細について）</p> <p>第9回： 一般構造③・・・RC造Ⅰ（鉄筋コンクリートについて・付着について・梁の設計）</p> <p>第10回： 一般構造④・・・RC造Ⅱ（柱の設計・床、スラブ、耐力壁、基礎の設計・定着、継手、フック</p> <p>第11回： 一般構造⑤・・・鉄骨構造Ⅰ（鉄骨構造の特性・許容応力度・接合法・構造形式・耐力壁・局部座屈）</p> <p>第12回： 一般構造⑥・・・鉄骨構造Ⅱ（各部構造・部材用語）・補強CB造・壁式コンクリート造</p> <p>第13回： 復習①・・・演習（荷重・地盤基礎・構造設計）</p> <p>第14回： 復習②・・・演習（木構造・RC造）</p> <p>第15回： 復習③・・・演習（S造）</p> <p>第16回： 復習④・・・模擬試験、まとめ</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築一般構造の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに2級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築一般構造Ⅱ		【講義】	
英文名： Building Construction Ⅱ			
担当者：	池内隆人		
	本科目は、建築一般構造への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 4単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅲの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを演習を通して学ぶ。</p> <p>第 1 回： 建築一般構造基礎講義①・・・構造計画</p> <p>第 2 回： 建築一般構造基礎講義②・・・木構造</p> <p>第 3 回： 建築一般構造基礎講義③・・・RC造、鉄骨構造</p> <p>第 4 回： 構造①・・・荷重（固定荷重・積載荷重・積雪荷重・風圧力・地震力）</p> <p>第 5 回： 構造②・・・地盤と基礎（地盤の圧密、液状化について・基礎の設計）</p> <p>第 6 回： 構造③・・・構造設計、構造計画</p> <p>第 7 回： 一般構造①・・・木構造Ⅰ（木材の許容応力度・継手仕口・接合）</p> <p>第 8 回： 一般構造②・・・木構造Ⅱ（各部構造、耐力壁・枠組壁工法・防腐防虫・各部詳細について）</p> <p>第 9 回： 一般構造③・・・RC造Ⅰ（鉄筋コンクリートについて・付着について・梁の設計）</p> <p>第 10 回： 一般構造④・・・RC造Ⅱ（柱の設計・床、スラブ、耐力壁、基礎の設計・定着、継手、フック）</p> <p>第 11 回： 一般構造⑤・・・鉄骨構造Ⅰ（鉄骨構造の特性・許容応力度・接合法・構造形式・耐力壁・局部座屈）</p> <p>第 12 回： 一般構造⑥・・・鉄骨構造Ⅱ（各部構造・部材用語）・補強CB造・壁式コンクリート造</p> <p>第 13 回： 復習①・・・演習（荷重・地盤基礎・構造設計）</p> <p>第 14 回： 復習②・・・演習（木構造・RC造）</p> <p>第 15 回： 復習③・・・演習（S造）</p> <p>第 16 回： 復習④・・・模擬試験、まとめ</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築一般構造の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに2級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築法規Ⅰ		【講義】	
英文名： Building Regulation I			
担当者：	竹中智司		
	本科目は、建築法規への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次：	1年次	開講期：	前期
科目区分：	専門	必修	単位数： 2単位
■授業概要 この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅱの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを講義を中心に学ぶ。			
第 1 回： 建築法規基礎講義①・・・法規の基礎 第 2 回： 建築法規基礎講義②・・・用語の定義 第 3 回： 建築法規基礎講義③・・・面積、高さの算定方法 第 4 回： 法規の基礎・用語の定義・・・建築法規のための基礎知識・用語の定義 第 5 回： 面積、高さの算定・単体規定①・・・面積、高さの算定方法・採光、換気・階段、シックハウス対策 第 6 回： 単体規定②・・・防火規制・排煙設備、非常用照明、非常用進入口・構造による規定・構造計算 第 7 回： 単体規定③・・・内装制限・木構造・鉄筋コンクリート造、その他 第 8 回： 集団規定①・・・階段等の避難施設・道路・用途地域、特別用途地区等 第 9 回： 集団規定②・・・容積率、建ぺい率・高さ制限Ⅰ 第 10 回： 集団規定③・・・高さ制限Ⅱ・外壁の後退、防火、準防火地域その他 第 11 回： 集団規定④・建築士法・・・建築基準法の手続き等・建築基準法のその他の規定・建築士法 第 12 回： 雑法・・・建設業法・高齢者移動等円滑化法・耐震改修促進法・都市計画法・その他法規 第 13 回： 復習①・・・総まとめ①(単体規定) 第 14 回： 復習②・・・総まとめ②(集団規定) 第 15 回： 復習③・・・総まとめ③(建築士法等 雑法) 第 16 回： 復習④・・・模擬試験、まとめ			
■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）・基本建築関係法令集（井上書院）			
■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）			
■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築法規の基本的な知識と応用力を身に付ける。			
■試験方法 原則として定期試験は行わない			
■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する			
■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！			

科目名： 建築法規Ⅱ		【講義】	
英文名： Building Regulation II			
担当者：	竹中智司		
	本科目は、建築法規への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 4単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅱの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを演習を通して学ぶ。</p> <p>第1回： 建築法規基礎講義①・・・法規の基礎 第2回： 建築法規基礎講義②・・・用語の定義 第3回： 建築法規基礎講義③・・・面積、高さの算定方法 第4回： 法規の基礎・用語の定義・・・建築法規のための基礎知識・用語の定義 第5回： 面積、高さの算定・単体規定①・・・面積、高さの算定方法・採光、換気・階段、シックハウス対策 第6回： 単体規定②・・・防火規制・排煙設備、非常用照明、非常用進入口・構造による規定・構造計算 第7回： 単体規定③・・・内装制限・木構造・鉄筋コンクリート造、その他 第8回： 集団規定①・・・階段等の避難施設・道路・用途地域、特別用途地区等 第9回： 集団規定②・・・容積率、建ぺい率・高さ制限Ⅰ 第10回： 集団規定③・・・高さ制限Ⅱ・外壁の後退、防火、準防火地域その他 第11回： 集団規定④・建築士法・・・建築基準法の手続き等・建築基準法のその他の規定・建築士法 第12回： 雑法・・・建設業法・高齢者移動等円滑化法・耐震改修促進法・都市計画法・その他法規 第13回： 復習①・・・総まとめ①(単体規定) 第14回： 復習②・・・総まとめ②(集団規定) 第15回： 復習③・・・総まとめ③(建築士法等 雑法) 第16回： 復習④・・・模擬試験、まとめ</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスマレッジ）・基本建築関係法令集（井上書院）</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築法規の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築施工Ⅰ		【講義】	
英文名： Construction PracticeⅠ			
担当者：	北山雄士		
	本科目は、工事現場への造詣が深く、又現場管理及び設計監理実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅳの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを講義を中心に学ぶ。</p> <p>第1回： 建築施工基礎講義①・・・施工管理 第2回： 建築施工基礎講義②・・・躯体工事 第3回： 建築施工基礎講義③・・・仕上工事 第4回： 建築計画・・・建築計画・施工管理・工事準備 第5回： 躯体工事①・・・仮設工事・土工事・基礎工事 第6回： 躯体工事②・・・鉄筋工事・型枠工事 第7回： 躯体工事③・・・コンクリート工事 第8回： 躯体工事④・・・鉄骨工事・組積工事 第9回： 躯体工事⑤・・・木工事・躯体工事のまとめ 第10回： 仕上工事①・・・防水工事・左官工事 第11回： 仕上工事②・・・タイル工事・塗装工事 第12回： 仕上工事③・・・建具工事・内装工事 第13回： 仕上工事④・・・設備工事・外装工事・施工機械 第14回： 契約・測量・・・積算・測量・契約 第15回： 復習①・・・仕上げ工事のまとめ 第16回： 復習②・・・模擬試験、まとめ</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築施工の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 建築施工 II		【講義】	
英文名： Construction Practice II			
担当者：	北山雄士		
	本科目は、建築施工法への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 4単位
<p>■授業概要</p> <p>この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅳの出題範囲から各单元ごとに、基本から重要事項までを演習を通して学ぶ。</p> <p>第 1 回： 建築施工基礎講義①・・・施工管理 第 2 回： 建築施工基礎講義②・・・躯体工事 第 3 回： 建築施工基礎講義③・・・仕上工事 第 4 回： 建築計画・・・建築計画・施工管理・工事準備 第 5 回： 躯体工事①・・・仮設工事・土工事・基礎工事 第 6 回： 躯体工事②・・・鉄筋工事・型枠工事 第 7 回： 躯体工事③・・・コンクリート工事 第 8 回： 躯体工事④・・・鉄骨工事・組積工事 第 9 回： 躯体工事⑤・・・木工事・躯体工事のまとめ 第 10 回： 仕上工事①・・・防水工事・左官工事 第 11 回： 仕上工事②・・・タイル工事・塗装工事 第 12 回： 仕上工事③・・・建具工事・内装工事 第 13 回： 仕上工事④・・・設備工事・外装工事・施工機械 第 14 回： 契約・測量・・・積算・測量・契約 第 15 回： 復習①・・・仕上げ工事のまとめ 第 16 回： 復習②・・・模擬試験、まとめ</p> <p>■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）</p> <p>■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築施工の基本的な知識と応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！</p>			

科目名： 構造力学・建築材料		【講義】	
英文名： Structural Mechanics and Building Materials			
担当者：	宗林功		
	本科目は、建築構造力学・建築材料への造詣が深く建築構造設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次：	1年次	開講期：	前期
科目区分：	専門	必修	単位数： 4単位
■授業概要 この授業では、2級建築士学科試験の合格を目標とし、2級建築士学科Ⅲの出題範囲から構造力学（講義：第1～6講）と建築材料（講義：第7講）について講義と演習（第8～11講）を通して学ぶ。 第1回： 構造力学基礎講義①・・・力とモーメント 第2回： 構造力学基礎講義②・・・応力度 第3回： 建築材料基礎講義 第4回： 基本計算・語句・力とモーメント 第5回： 反力と応力①・・・反力計算の徹底理解・応力計算（片持ち梁・単純梁）の徹底理解 第6回： 反力と応力②・・・応力計算（単純梁・ラーメン）の徹底理解 第7回： 断面性能・座屈・・・断面二次モーメント・断面係数の理解、座屈荷重公式の概念理解 第8回： 応力度・・・応力度計算における反力・応力計算法の理解、応力度公式の理解 第9回： トラス・その他・・・トラス簡易計算法（目視による引張・圧縮の判別）の理解 第10回： 材料関係・・・木材・コンクリート・鋼材・その他の各項目における重要事項の徹底理解 第11回： 総まとめ①・・・演習問題7連発 第12回： 総まとめ②・・・演習問題7連発 第13回： 総まとめ③・・・演習問題7連発 第14回： 答練①・・・演習問題10連発 第15回： 答練②・・・新問・新傾向への備え 第16回： 模擬試験、まとめ			
■教科書 ラクラク突破の2級建築士スピード学習帳（エクスナレッジ）			
■参考文献 2級建築士試験 出題キーワード別問題集（学芸出版社）			
■到達目標 2級建築士試験合格に必要な建築構造力学・建築材料の基本的な知識と応用力を身に付ける。			
■試験方法 原則として定期試験は行わない			
■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに2級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する			
■受講生へのメッセージ ① 遅刻は厳禁！よって、夜更かしも厳禁！！ ② 復習を中心に、計画的な学習を！			

科目名： 学科特論		【演習】	
英文名： Problem Maneuver			
担当者：	宗林功、竹中智司		
	本科目は、建築士試験への造詣が深く建築設計及び建築施工管理実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 6単位
<p>■授業概要</p> <p>課題演習では、2級建築士学科試験合格を目標に模擬試験を実施し、学習の到達点を確認する。</p> <p>第 1 回： ガイダンス</p> <p>第 2 回： 復習試験①・・・構造力学基礎①</p> <p>第 3 回： 復習試験②・・・構造力学基礎②</p> <p>第 4 回： 復習試験③・・・建築法規 単体規定①</p> <p>第 5 回： 復習試験④・・・建築法規 単体規定②</p> <p>第 6 回： 復習試験⑤・・・建築法規 集団規定①</p> <p>第 7 回： 復習試験⑥・・・建築法規 集団規定②</p> <p>第 8 回： 復習試験⑦・・・建築法規 手続き関係＋雑法</p> <p>第 9 回： 復習試験⑧・・・建築計画 建築各論</p> <p>第 10 回： 復習試験⑨・・・建築計画 建築原論</p> <p>第 11 回： 復習試験⑩・・・建築一般構造 RC造</p> <p>第 12 回： 復習試験⑪・・・建築一般構造 木造</p> <p>第 13 回： 復習試験⑫・・・建築一般構造 鉄骨造</p> <p>第 14 回： 復習試験⑬・・・建築施工 仮設工事等</p> <p>第 15 回： 復習試験⑭・・・建築施工 躯体工事等</p> <p>第 16 回： 復習試験⑮・・・建築施工 仕上工事等</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 2級建築士試験合格に向けて各科目（構造力学・法規・計画・一般構造・施工）の試験対応能力を身につける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ</p> <p>① 遅刻厳禁！ ② 模擬試験の復習は必ず行うこと！</p>			

科目名： キャリア・デザイン			
英文名： Career Design			
担当者：	竹中智司		
	本科目は、キャリア教育への造詣が深く、長年の経験と深い見識を持つ教員が主に担当する。		
開講年次： 1年次	開講期： 前期	科目区分： 専門 必修	単位数： 1単位
<p>■授業概要</p> <p>建設業界における各種の資格についての理解、及び、その特徴等を学ぶ。又、3者面談を通じて学生個々の適正に合った職業を考える。</p> <p>第 1 回： ガイダンス</p> <p>第 2 回： 2級建築士学科及び設計製図試験について</p> <p>第 3 回： 個人面談①・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 4 回： 個人面談②・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 5 回： 個人面談③・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 6 回： 個人面談④・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 7 回： 個人面談⑤・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 8 回： 個人面談⑥・・・学生、担任、進路指導担当者との3者面談</p> <p>第 9 回： 2級建築施工管理技士試験について</p> <p>第 10 回： 積算士補試験について</p> <p>第 11 回： 危険物取扱者試験について</p> <p>第 12 回： その他の資格関係①・・・建築系</p> <p>第 13 回： その他の資格関係②・・・その他工業系</p> <p>第 14 回： 公文書について①・・・概要</p> <p>第 15 回： 公文書について②・・・作成の要点等</p> <p>第 16 回： まとめ</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 建設業界における各種資格について、どのような必要性があるのかを理解する。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ 建設業界にはさまざまな職種があり、又資格等が必要です。自分に合った職種をできるだけ早く見つけ、行動に移しましょう。</p>			

科目名： 建築設計製図		【実習】	
英文名： Architectural Plan and Drawing			
担当者：	竹中智司、北山雄士、池内隆人		
	本科目は、建築設計製図への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、設計教育に対する深い見識と実務経験を持つ教員が主に担当する。教員は、実務での知識・技術をレクチャーすると共に、学生の制作等実習作業を実務視点から批評及び指導を行う。		
開講年次：	1年次	開講期：	後期
科目区分：	専門	必修	単位数： 6単位
<p>■授業概要</p> <p>二級建築士製図試験の合格を目標に、講義と演習を通じて設計、製図の能力を修得します。</p> <p>第 1 回： ガイダンス・・・線と文字の練習，作図の基本講義</p> <p>第 2 回： 平面図作成講義と演習</p> <p>第 3 回： 立面図・断面図作図講義と演習</p> <p>第 4 回： 矩計図作図講義と演習</p> <p>第 5 回： 各伏図作図講義と演習</p> <p>第 6 回： 一式図作成演習①・・・ラフプランからの作図①</p> <p>第 7 回： 一式図作成演習②・・・ラフプランからの作図②</p> <p>第 8 回： 一式図作成演習③・・・ラフプランからの作図③</p> <p>第 9 回： 一式図作成演習④・・・ラフプランからのスケッチ作成①</p> <p>第 10 回： 一式図作成演習⑤・・・ラフプランからのスケッチ作成②</p> <p>第 11 回： エスキース講義と演習①・・・エスキース基礎講義</p> <p>第 12 回： エスキース講義と演習②・・・南道路エスキース</p> <p>第 13 回： エスキース講義と演習③・・・北道路エスキース</p> <p>第 14 回： エスキース講義と演習④・・・東道路エスキース</p> <p>第 15 回： エスキース講義と演習⑤・・・西道路エスキース</p> <p>第 16 回： エスキース講義と演習⑥・・・南東角地エスキース</p> <p>第 17 回： エスキース講義と演習⑦・・・北東角地エスキース</p> <p>第 18 回： エスキース講義と演習⑧・・・南西角地エスキース</p> <p>第 19 回： エスキース講義と演習⑨・・・北西角地エスキース</p> <p>第 20 回： エスキース講義と演習⑩・・・北南二方道路エスキース</p> <p>第 21 回： 模擬テスト①・・・一方道路エスキース～一式図面作成①</p> <p>第 22 回： 模擬テスト②・・・一方道路エスキース～一式図面作成②</p> <p>第 23 回： 設計製図補習講義①</p> <p>第 24 回： 設計製図補習講義②</p> <p>第 25 回： 設計製図補習講義③</p> <p>第 26 回： 設計製図補習講義④</p> <p>第 27 回： 設計製図補習講義⑤</p> <p>第 28 回： 設計製図補習講義⑥</p> <p>第 29 回： 設計製図補習講義⑦</p> <p>第 30 回： まとめの講義と試験直前ガイダンス</p> <p>■教科書</p> <p>プリントによる</p> <p>■参考文献</p> <p>プリントによる</p> <p>■到達目標</p> <p>2級建築士試験合格に必要な建築設計製図の基本的な知識と技術、及び応用力を身に付ける。</p> <p>■試験方法</p> <p>原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準</p> <p>受講姿勢及び演習課題提出、並びに二級建築士設計製図本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ</p> <p>宿題の未提出の場合、講義への出席はできません。また、遅刻も同様です。短期間で製図試験に合格するための力を身につけるために、毎日、設計製図に取り組んでください。</p>			

科目名： ビジネス講座		【講義】	
英文名： lectures on business			
担当者：	善才雅夫		
	本科目は、ビジネス能力への造詣が深くビジネス実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 必修	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>就職後必ず必要となる「文章作成」や「ビジネス常識」等について学びます。</p> <p>第 1 回： 『仕事とは』 辞令を基に仕事の辛さ、厳しさ、そして喜びや達成感を伝える</p> <p>第 2 回： 『ビジネスマナーの基本①』 ビジネス文書の書き方等を学ぶ</p> <p>第 3 回： 『ビジネスマナーの基本②』 ビジネス文書の書き方等を学ぶ</p> <p>第 4 回： 『ビジネスマナーの基本③』 ビジネス文書の書き方等を学ぶ</p> <p>第 5 回： 『論文作成①』 一般論作文を通して文章構成の基礎を再認識する</p> <p>第 6 回： 『論文作成②』 書いた論作文について個々の文書をもとにした解説</p> <p>第 7 回： 『論文作成③』 書いた論作文について個々の文書をもとにした解説</p> <p>第 8 回： 中間考査、論文まとめ</p> <p>第 9 回： 『ビジネスマナーの基本④』 実際にビジネス文書を書いてみる</p> <p>第 10 回： 『ビジネスマナーの基本⑤』 書いたビジネス文書について個々の文書をもとにした解説</p> <p>第 11 回： 『ビジネスマナーの基本⑥』 会議の進行、効率的な結論の導き出し方等を実践形式で学ぶ</p> <p>第 12 回： 『会社組織を知る①』 会社組織はどう成り立っているのか、具体例と解説</p> <p>第 13 回： 『会社組織を知る②』 会社組織はどう成り立っているのか、具体例と解説</p> <p>第 14 回： 『会社組織を知る③』 会社組織はどう成り立っているのか、具体例と解説</p> <p>第 15 回： 『建設業界を知る①』 建設業界、仕事内容についてあらためて解説</p> <p>第 16 回： 『建設業界を知る②』 建設業界、仕事内容についてあらためて解説</p> <p>第 17 回： まとめ講義①、ビジネスマナーのまとめ</p> <p>第 18 回： まとめ講義②、会社組織のまとめ</p> <p>第 19 回： ビジネス業務 集中指導①・・・ビジネスマナー個人指導①</p> <p>第 20 回： ビジネス業務 集中指導②・・・ビジネスマナー個人指導②</p> <p>第 21 回： ビジネス業務 集中指導③・・・ビジネスマナー個人指導③</p> <p>第 22 回： ビジネス業務 集中指導④・・・ビジネスマナー個人指導④、総まとめ</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 建築業界のみならず社会の一員となるに際し、ビジネスマナーや組織論、そして心構えを学ぶとともに、今後、新たに習得すべき『税』や『保険』等の知識を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ 「文章作成」や「ビジネス常識」, 「対人コミュニケーション」技術者にとって非常に重要性の高いものと言えるでしょう。「働く」ことを意識しながら講義にのぞんでください。</p>			

科目名： 特別講義（学外研修）		【講義/演習】	
英文名： Special Lecture II			
担当者：	竹中智司、北山雄士		
	本科目は、建築物への造詣が深く建築設計実務及び建築施工管理を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 選択	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>専門分野の枠にとらわれず、あらゆる分野からの刺激を自らのスキルアップに繋げることを目指します。</p> <p>第 1 回： ガイダンス</p> <p>第 2 回： 学外研修①（施設見学等）</p> <p>第 3 回： 研修レポート等の作成作業①</p> <p>第 4 回： 研修レポート等の作成作業②</p> <p>第 5 回： 個別指導①・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 6 回： 個別指導②・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 7 回： 研修①まとめ</p> <p>第 8 回： 学外研修②（施設見学等）</p> <p>第 9 回： 研修レポート等の作成作業①</p> <p>第 10 回： 研修レポート等の作成作業②</p> <p>第 11 回： 個別指導①・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 12 回： 個別指導②・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 13 回： 研修②まとめ</p> <p>第 14 回： 学外研修③（施設見学等）</p> <p>第 15 回： 研修レポート等の作成作業①</p> <p>第 16 回： 研修レポート等の作成作業②</p> <p>第 17 回： 個別指導①・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 18 回： 個別指導②・・・個人の進路およびスキル等をみながら課題・指導内容を考える。</p> <p>第 19 回： 研修③まとめ</p> <p>第 20 回： 自由研究①・・・役所関係調査等</p> <p>第 21 回： 自由研究②・・・敷地関係調査等</p> <p>第 22 回： まとめ講義</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 将来（就職後）にも対応した研修レポートの作成能力を身につける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び研修レポート提出等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ 受講姿勢が第一。</p>			

科目名： 建築デザイン講座		【講義/演習】	
英文名： Special Lecture I			
担当者：	大西崇之		
	本科目は、建築デザインへの造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、実務での知識・技術をレクチャーすると共に、学生の演習作業を実務視点から批評及び指導を行う。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 選択	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>建築設計で学んだ知識や技術を定着させながら、ただ単に作品をつくることが目的ではなく、学生個々が描いた「進路イメージ」や、その具体的な活動から浮かび上がる作品の制作（コンペ参加）を行います。</p> <p>第 1 回： エスキース指導①</p> <p>第 2 回： エスキース指導②</p> <p>第 3 回： エスキース指導③</p> <p>第 4 回： エスキース指導④</p> <p>第 5 回： エスキース指導⑤</p> <p>第 6 回： エスキース指導⑥</p> <p>第 7 回： 模型指導①</p> <p>第 8 回： 模型指導②</p> <p>第 9 回： 模型指導③</p> <p>第 10 回： 模型指導④</p> <p>第 11 回： 模型指導⑤</p> <p>第 12 回： プレゼンテーション指導①</p> <p>第 13 回： プレゼンテーション指導②</p> <p>第 14 回： プレゼンテーション指導③</p> <p>第 15 回： プレゼンテーション指導④</p> <p>第 16 回： プレゼンテーション指導⑤</p> <p>第 17 回： プレゼンテーション指導⑥</p> <p>第 18 回： プレゼンテーション指導⑦</p> <p>第 19 回： プレゼンテーション指導⑧</p> <p>第 20 回： 作品発表と講評</p> <p>第 21 回： 総まとめ講義①</p> <p>第 22 回： 総まとめ講義②</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 建築関連コンペに提出できるレベルでの建築模型制作力と企画提案力を身に付ける。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び課題作品提出等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ 「課題」第一、コミュニケーションを大切にします。</p>			

科目名： 建築積算講座		【講義】	
英文名： lectures on Building Cost			
担当者：	竹中智司		
	本科目は、建築積算への造詣が深く建築設計実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 選択	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>建築積算の概要を学ぶとともに、建築積算士補試験の合格を目指す。</p> <p>第 1 回： ガイダンス</p> <p>第 2 回： 建築積算の位置づけ</p> <p>第 3 回： 土工事の積算について①・・・仮設</p> <p>第 4 回： 土工事の積算について②・・・土工</p> <p>第 5 回： 土工事の積算について③・・・地業</p> <p>第 6 回： コンクリートの数量積算①・・・基礎、基礎梁</p> <p>第 7 回： コンクリートの数量積算②・・・柱</p> <p>第 8 回： コンクリートの数量積算③・・・大梁、小梁</p> <p>第 9 回： コンクリートの数量積算④・・・床版、壁</p> <p>第 10 回： コンクリートの数量積算⑤・・・階段、その他</p> <p>第 11 回： 鉄筋工事の数量積算①・・・基礎、基礎梁</p> <p>第 12 回： 鉄筋工事の数量積算②・・・柱、大梁、小梁</p> <p>第 13 回： 鉄筋工事の数量積算③・・・床版、壁、その他</p> <p>第 14 回： 型枠工事の数量積算①・・・基礎、基礎梁</p> <p>第 15 回： 型枠工事の数量積算②・・・柱、大梁、小梁</p> <p>第 16 回： 全体のまとめ①</p> <p>第 17 回： 積算士補試験、全体のまとめ②</p> <p>第 18 回： 建築積算業務について①・・・数量積算</p> <p>第 19 回： 建築積算業務について②・・・値入れ</p> <p>第 20 回： 建築積算業務について③・・・コスト管理</p> <p>第 21 回： 建築積算業務関連 就職活動指導</p> <p>第 22 回： 総まとめ</p> <p>■教科書</p> <p>建築積算（社団法人日本建築積算協会）</p> <p>■参考文献</p> <p>プリントによる</p> <p>■到達目標</p> <p>建築積算士補試験合格に必要な基礎知識を身につけ、試験合格を目指します。</p> <p>■試験方法</p> <p>原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準</p> <p>受講姿勢及び演習課題提出、並びに建築積算士補本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ</p> <p>遅刻厳禁</p>			

科目名： 2級建築施工管理技士学科講座		【講義】	
英文名： The Second Class Architectural Construction Management Engineer (Subject)			
担当者：	北山雄士		
	本科目は、建築施工への造詣が深く建築施工管理実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 選択	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>2級建築士学科試験対策で学んだ内容を基礎として、2級建築施工管理技士（学科）本試験合格を目標に、対策の模擬試験を行う。</p> <p>第1回： 施工管理基礎講義（試験の説明・授業の流れ説明）</p> <p>第2回： 環境工学① （換気，日照，日射，採光，照明）</p> <p>第3回： 環境工学② （熱，結露，色彩，音響）</p> <p>第4回： 各種構造① （構造設計の基礎，鉄骨構造）</p> <p>第5回： 各種構造② （鉄筋コンクリート構造）</p> <p>第6回： 各種構造③ （木構造，基礎構造）</p> <p>第7回： 施工共通① （舗装工事，測量，見積り，積算）</p> <p>第8回： 施工共通② （電気設備，機械設備）</p> <p>第9回： 法規 （建築基準法，建設業法，労働基準法，労働安全衛生法，その他法規）</p> <p>第10回： 躯体工事① （地盤調査，仮設工事，土工事，山留め工事，基礎工事，鉄筋工事）</p> <p>第11回： 躯体工事② （鉄骨工事，コンクリートブロック工事，施工機械）</p> <p>第12回： 仕上げ工事① （防水工事，張り石工事，タイル工事，屋根及び金属工事，軽量鉄骨工事）</p> <p>第13回： 仕上げ工事② （左官工事，建具・ガラス工事，塗装工事）</p> <p>第14回： 仕上げ工事③ （内装工事，木工事，ALCパネル工事）</p> <p>第15回： 施工管理法① （施工計画，工程管理）</p> <p>第16回： 施工管理法② （品質管理，安全管理）</p> <p>第17回： 模擬試験① 全講義ふりかえり① （環境工学・構造・法規）</p> <p>第18回： 模擬試験② 全講義ふりかえり② （施工共通・施工管理法・躯体工事・仕上げ工事）</p> <p>第19回： 2級建築施工管理技士試験、まとめ</p> <p>第20回： 施工管理技士業務関連 就職活動指導① （工程表の作成）</p> <p>第21回： 施工管理技士業務関連 就職活動指導② （測量器操作）</p> <p>第22回： 施工管理技士業務関連 就職活動指導③ （施工管理業務の流れ）</p> <p>■教科書 特になし</p> <p>■参考文献 特になし</p> <p>■到達目標 2級建築施工管理技士（学科）試験合格に必要な基礎知識を身につけ、試験合格を目指します。</p> <p>■試験方法 原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準 受講姿勢及び演習課題提出、並びに2級建築施工管理技士学科本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ 2級建築施工管理技士（学科）試験の合格率は、年々難しくなり今後も試験の難易度が高くなると考えられます。この試験に合格するためには、模擬試験を受けるだけではなく、各自が計画的に学習することが重要です。</p>			

科目名： 危険物取扱者講座		【講義】	
英文名： lectures on Hazardous Materials Engineer			
担当者：	竹中智司		
	本科目は、危険物への造詣が深く危険物取扱実務を長年経験し、同分野に対する深い見識を持つ教員が主に担当する。教員は、理論講義と共に実務での経験的知識とそれとの関連を示し、より実践的な知識となるよう指導する。		
開講年次： 1年次	開講期： 後期	科目区分： 専門 選択	単位数： 2単位
<p>■授業概要</p> <p>危険物取扱者資格の概要を学ぶとともに、危険物取扱者乙種4種試験の資格取得を目指す。</p> <p>第1回：試験ガイダンス・基礎講義</p> <p>第2回：基礎的な物理・化学</p> <p>第3回：燃焼・消火に関する基礎知識①・・・燃焼の理論</p> <p>第4回：燃焼・消火に関する基礎知識②・・・消火の理論</p> <p>第5回：危険物の分類①・・・各類危険物の性質</p> <p>第6回：危険物の分類②・・・火災予防及び消火方法</p> <p>第7回：危険物の分類③・・・性質と危険性</p> <p>第8回：事故例の原因と対策</p> <p>第9回：中間模擬試験、分類まとめ</p> <p>第10回：危険物と指定数量①・・・消防法による分類</p> <p>第11回：危険物と指定数量②・・・指定数量の倍率の考え方</p> <p>第12回：製造所等の区分①・・・製造所等の区分</p> <p>第13回：製造所等の区分②・・・製造所等の位置、構造</p> <p>第14回：製造所等の区分③・・・製造所等の設備</p> <p>第15回：許可申請と届け出手続き、危険物の保安、維持管理</p> <p>第16回：危険物の分類貯蔵、取扱いの基準</p> <p>第17回：危険物の管理等</p> <p>第18回：模擬試験①・・・基本項目①、まとめ</p> <p>第19回：模擬試験②・・・基本項目②、まとめ</p> <p>第20回：模擬試験③・・・応用試験、解説</p> <p>第21回：危険物取扱者業務関連 就職活動指導①・・・建築施工関係</p> <p>第22回：危険物取扱者業務関連 就職活動指導②・・・施設保安関係</p> <p>■教科書</p> <p>チャレンジライセンス 乙種4類危険物取扱者テキスト 改訂版（実教出版）</p> <p>■参考文献</p> <p>プリントによる</p> <p>■到達目標</p> <p>危険物取扱者試験合格に必要な基礎知識を身につけ、試験合格を目指します。</p> <p>■試験方法</p> <p>原則として定期試験は行わない</p> <p>■成績評価基準</p> <p>受講姿勢及び演習課題提出、並びに危険物取扱者本試験の試験結果等により総合的に評価する</p> <p>■受講生へのメッセージ</p> <p>遅刻厳禁</p>			